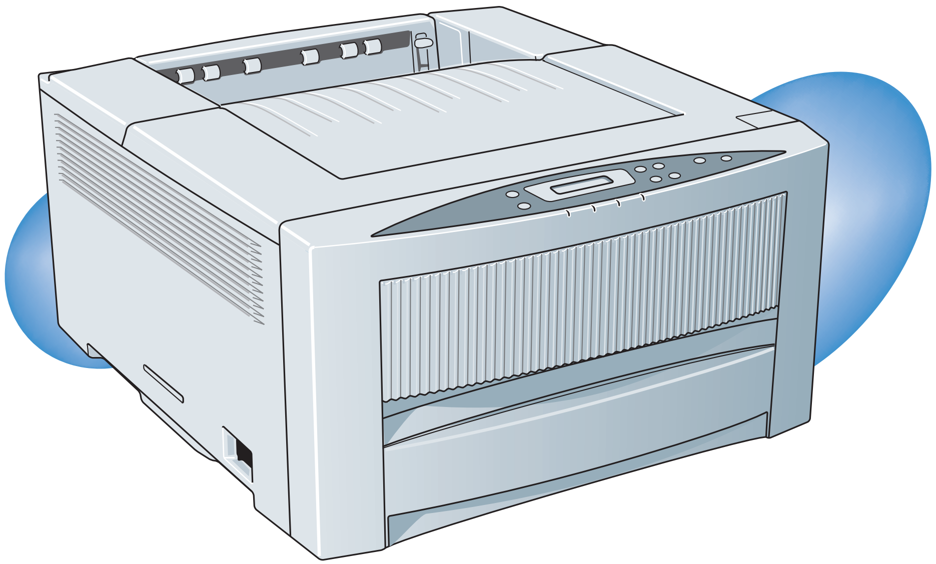
SPEEDIA N4 614

セットアップガイド

プリンタの設置方法、プリンタドライバのインストール方法等、印刷できる状態にするまでの方法が記載されています。



T-629P-1D
MA0203-E　2002年3月25日　第5版発行

CASIO

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA N4-614シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」は、SPEEDIA N4-614シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用いただけるよう、印刷してご使用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種：SPEEDIA N4-614
SPEEDIA N4-614P
SPEEDIA N4-614e

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠ **警告**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事があります。

⚠ **注意**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与える事があります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警 告

＜電源に関する警告＞

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

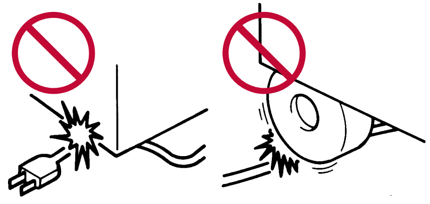
- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。）

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。



⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。
電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

＜製品の取り扱いに関する警告＞

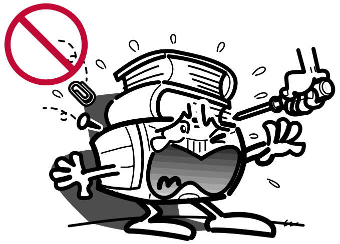
製品の上に水の入った容器（コップ・花瓶・植木鉢など）や金属物（クリップ・ホチキスの針等）を置かないでください。こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。



⚠ 警 告

万一製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



⚠ 注 意

＜電源に関する注意＞

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

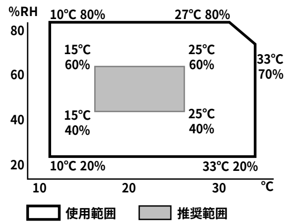
パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

＜設置場所に関する注意＞

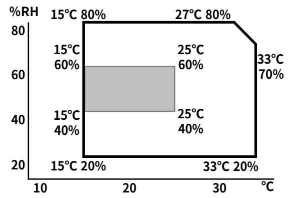
湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になる事があります。
プリンタ本体は床から35cm以上離して設置してください。

安全のため温度や湿度が右図で示す「使用範囲」の場所でご使用ください。また、プリンタの最高の性能を発揮するためには「推奨範囲」でのご使用をおすすめします。

〈N4-614〉



〈N4-614P〉



ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強燃性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

⚠ 注 意

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

＜製品の取り扱いに関する注意＞

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。シェルを閉めるときは必ず周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

用紙排出口付近の定着器は高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

詰まった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンタの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

⚠ 注 意

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着器の内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチを切ってから行なってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

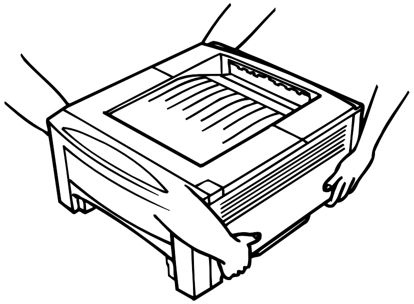
トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

消耗品の交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。万一トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに、掃除機で吸い取ってください。

注 意

<持ち運び・廃棄に関する注意>

製品を持ち運ぶ際は必ず2人以上で運んでください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないように十分ご注意ください。製品重量は、消耗品・オプション無しでも約43kgあります。拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用のときは、本体から取り外して別々に運んでください。



使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生などで思わぬ事故の原因になります。カシオは地球環境保護のために、使用済みのドラムセットとトナーセットを無償で回収しています。詳しくは別売のドラムセットまたはトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄する場合は、一般の不燃物（廃プラスチック・金属）扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従って廃棄してください。

特　長

カラーもモノクロも1分間に14枚（A4横）プリントできて
速い

高解像度と階調表現で、印刷が
きれい

トナーセーブ機能とスリープモード時30W以下の低消費電力で
経済的

64bit高速RISC CPUとデータ高圧縮伸張機能で
画像処理が速い



ペーパカセットでA3サイズまで印刷でき、オフィスに最適な
ビジネスカラープリンタ

オプションのLAN I/Fボードをつければ
ネットワークプリンタ

マルチペーパフィーダから長いサイズの用紙に印刷ができる
長尺紙対応

N4-614Pは最大157g／㎡の厚紙に印刷ができる
厚紙対応

オプションの拡張ペーパフィーダを2台取り付けて
最大850枚大量印刷
（N4-614Pは480枚）

目　次

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

注意！ この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

ポイント 取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたいことを記載しています。

☞ 関連した内容の参照先を示しています。

☞ この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Readerの ← 「前の画面」ボタンを押します。）

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

＜省略記載＞

Windows95
Windows98
WindowsNT4.0
Windows2000
WindowsMe
WindowsXP
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載のWindowsのパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows98の画面を例に使用しています。

1. プリンタ各部の名称と働き

<正面>

排紙切替レバー
フェイスダウン排紙とフェイスアップ排紙を切り替えます。
☞ ハードウェアマニュアル（38ページ）

用紙ストッパー
A3 サイズの用紙に印刷するときに起こして、用紙が落ちないようにします。

操作パネル
プリンタの状態を表示したり、プリンタの機能を設定するときに使用します。
☞ リファレンスマニュアル

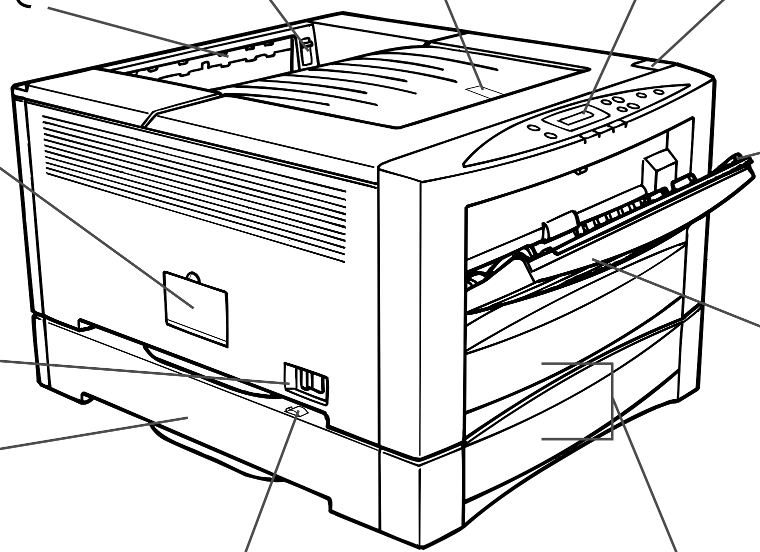
排紙部（フェイスダウン）
印刷された用紙が印刷面を下にして（フェイスダウン）出てきます。

ループ解除ボタン
ループのロックを解除するボタンです。

このフタは開けられません。

用紙ガイド
マルチペーパフィーダにセットした用紙のサイズに合わせて調節します。

電源スイッチ
「I」側を押すと ON
「O」側を押すと OFF



マルチペーパフィーダ
印刷する面を上向きにセットします。特殊紙はここから給紙してください。
☞ ハードウェアマニュアル（27ページ）

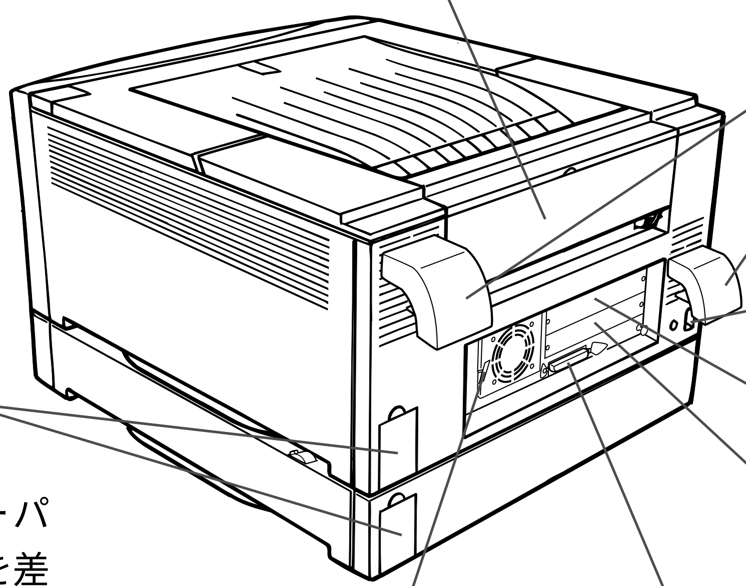
拡張ペーパフィーダ（オプション）
ペーパカセットを装着する給紙ユニットです。本体に２台まで装着できます。
☞ ハードウェアマニュアル（50ページ）

拡張ペーパフィーダロックレバー
拡張ペーパフィーダをプリンタに固定するためのレバーです。

ペーパカセット（A3 ユニバーサル）
A3 ～ A5（B 系列を含む）定型サイズの普通紙をセットできます。
☞ ハードウェアマニュアル（24ページ）

＜背面＞

排紙トレイ（フェイスアップ）
印刷された用紙が印刷面を上にして（フェイスアップ）出てきます。
☞ ハードウェアマニュアル（39ページ）



風向変更カバー
排気口に取り付けることにより、プリンタから出る風の向きを変えることができます。
☞ （24ページ）

電源コード差し込み口
電源コードを差し込みます。

拡張ペーパフィーダコネクタカバー
オプションの拡張ペーパフィーダの接続コードを差し込みます。

予備拡張スロット
上段の拡張スロットは使用できません。

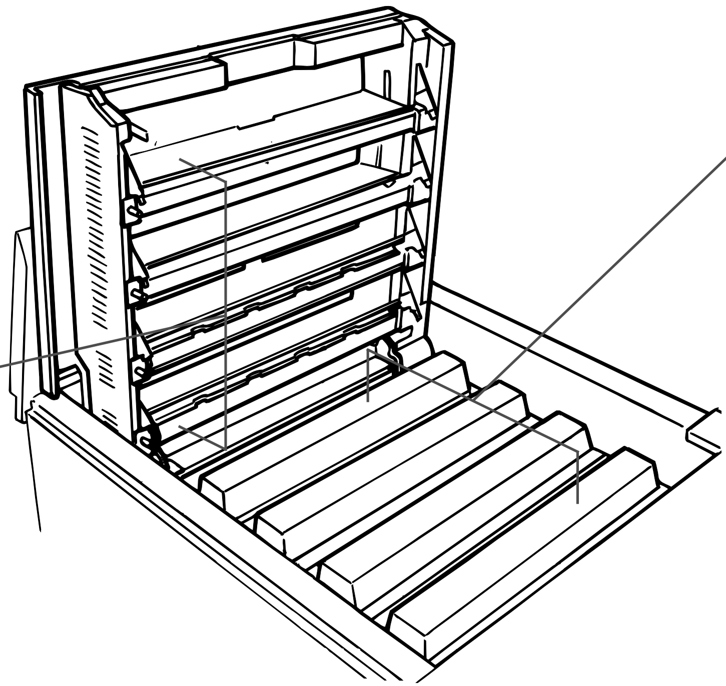
拡張 I/F ボード挿入口
拡張パラレルI/Fボード又はLAN I/Fボードのいずれか１枚が装着できます。
☞ ハードウェアマニュアル（54ページ）

インターフェイスボックス取り外しレバー
オプションのメモリモジュールやハードディスクを取り付ける際、インターフェイスボックスを取り外すときに使用します。
☞ ハードウェアマニュアル（56ページ）

パラレルインターフェイスコネクタ
プリンタケーブルを接続します。
☞ （31ページ）

＜内部＞

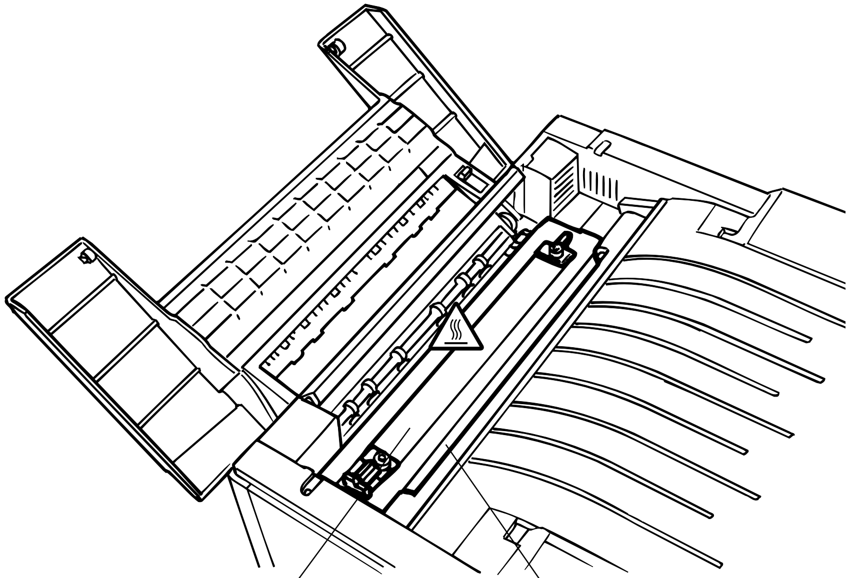
● プロセスユニット部



ドラム・トナーセット
奥から順にブラック、イエロー、シアン、マゼンタのドラムセットとトナーセットを取り付けます。
☞（19ページ）

LED ヘッド
色別に４本の LED ヘッドが並んでいます。

● 定着ユニット部



定着クリーナ

定着ローラーに付着した汚れを取り除きオイルを塗布します。

☞ ハードウェアマニュアル（13ページ）

定着器

用紙にトナーを熱定着させます。

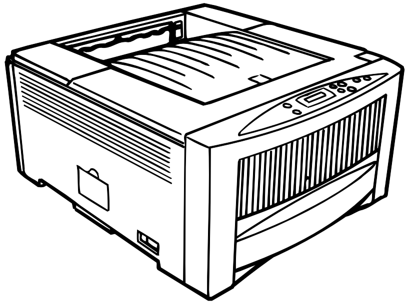
⚠注意

印刷中、および印刷直後は非常に高温になっています。さわらないように注意してください。

2. 同梱品の確認

● 梱包箱に次のものがそろっているか確認してください。もし不足しているものがあれば、お買い求めの販売店にご連絡ください。

＜本体＞



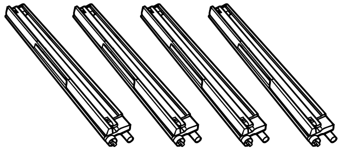
取扱説明書について

本プリンタの取扱説明書はCD-ROM内に収録されています。製本された取扱説明書は同梱されていませんのでご注意ください。

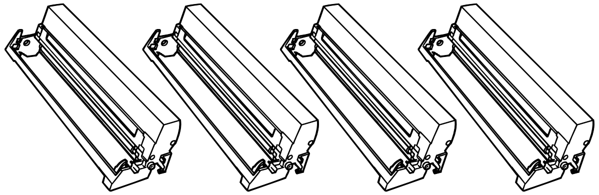
☞ ハードウェアマニュアル「付録8.マニュアル印刷とキーワードによる検索方法」（102ページ）

取扱説明書の一部を抜粋して、クイックガイドにまとめてありますのでご活用ください。

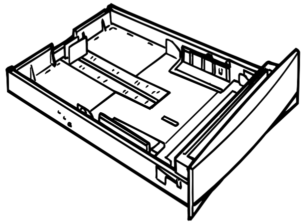
＜付属品＞



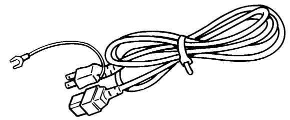
ドラムセット（4本）



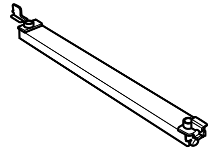
トナーセット（4本）



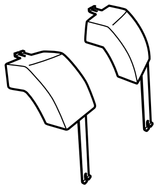
ペーパカセット
（本体に実装済み）



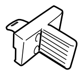
電源コード



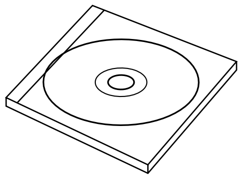
定着クリーナ　1本
（N4-614e以外は本体に実装済み）



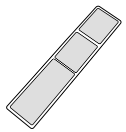
風向変更カバー
（2個）



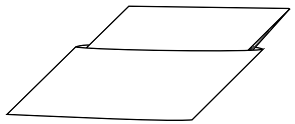
現像ロールクリーナ
（ペーパカセット内に同梱）



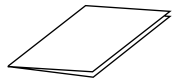
CD-ROM
- 取扱説明書
- プリンタドライバ
- 各種ユーティリティソフト



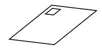
注意ラベル



クイックガイド
（ケース付き）



設置手順書



お客様登録
カード

ポイント N4-614eモデルにはドラムセット（4本）とトナーセット（4本）及び定着クリーナは付いていません。別売のドラムセット（N4-612DSK、N4-612DS3C）とトナーセット（N4-612TSK-SP、N4-612TSY、N4-612TSC、N4-612TSM）をお買い求めください。尚、定着クリーナは別売のドラムセット（ブラック）に同梱されています。

3. 設置場所の選定

3.1 設置に適した場所

次のような場所に設置してください。

● プリンタの重量（約 65kg）が十分耐えられる水平で安定した場所
（標準実装状態で約 51kg、全てのオプション類を実装すると約 65kg になります。）

● プリンタ専用のコンセント（AC100V、50/60Hz、15A 以上、アース端子付き）が確保できる場所
（プリンタと同じコンセントから他の機器（パソコン等）の電源を取らないでください。）

● 密閉されていない風通しの良い場所

● 直射日光が当たらない場所（3,000Lux 以下を推奨）

● 用紙のセットや消耗品の交換等が無理なくできるスペースが確保できる場所（次項の「設置スペース」参照）

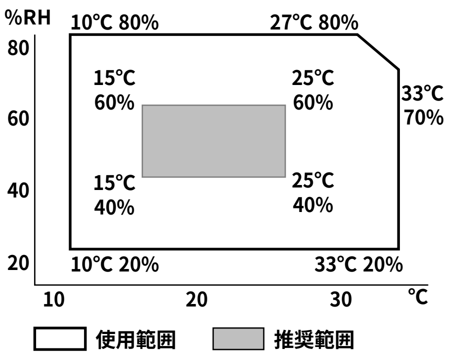
● 以下の環境条件を満足する場所

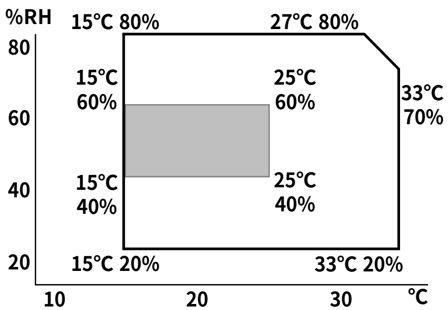
<N4-614>

- 温度：　10 ～ 33℃（15 ～ 25℃を推奨）
- 湿度：　20 ～ 80%（46 ～ 60%を推奨）
（ただし結露しないこと）
- 水平度：1.0 ° 以下

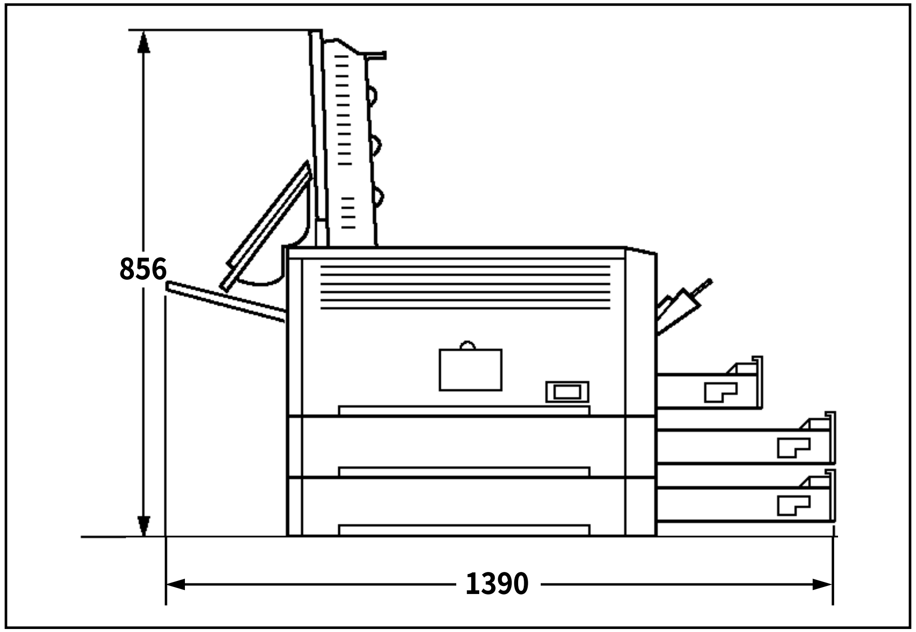
<N4-614P>

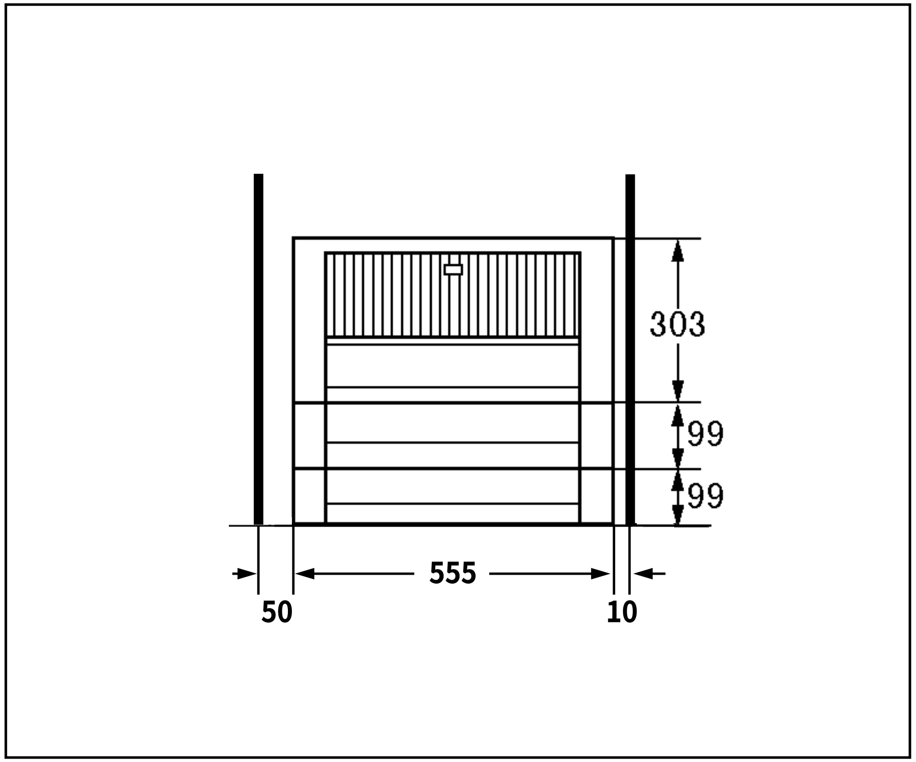
- 温度：　15 ～ 33℃（15 ～ 25℃を推奨）
- 湿度：　20 ～ 80%（46 ～ 60%を推奨）





3.2 設置スペース





- プリンタ本体を床面にじかに設置しないで、35cm以上離して設置することをおすすめします。ホコリによる故障の原因になることがあります。
- 設置台はオプションのN4専用デスク（N4-DESK）のご使用をおすすめします。
- キャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。

3.3 設置に不適当な場所

次のような場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。プリンタ本体は床から35cm以上離して設置することをおすすめします。
火災・感電・故障の原因になる事があります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強粘性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。
火災の原因になる事があります。

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

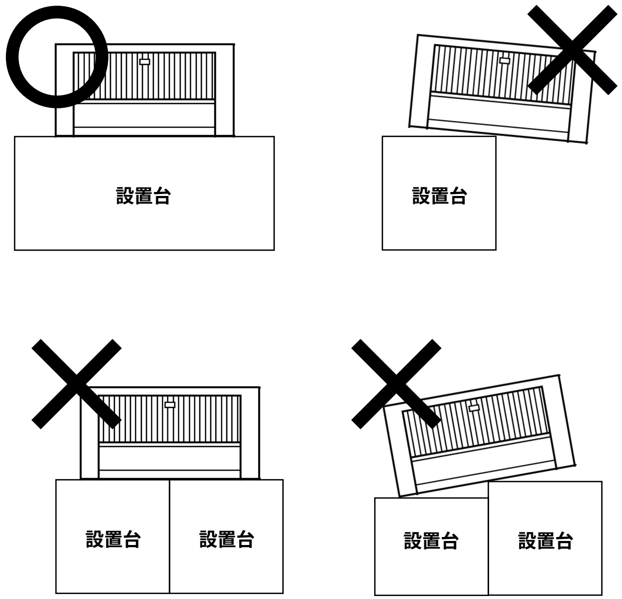
製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

大切な家具などの上に設置しないでください。
長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が付着して、大切な家具を汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。
受信障害の原因になる事があります。

3.4 設置台について

設置台はプリンタの底面より広く、丈夫で水平な台に設置してください。
プリンタのゴム足が台から外れていたり、２つ以上の台にまたがって設置したり、段差があるような場所に設置すると、プリンタの内部機構に無理な力がかかり、画像不良や、紙詰まりが発生しやすくなります。そのまま使用すると故障の原因になりますので絶対に避けてください。



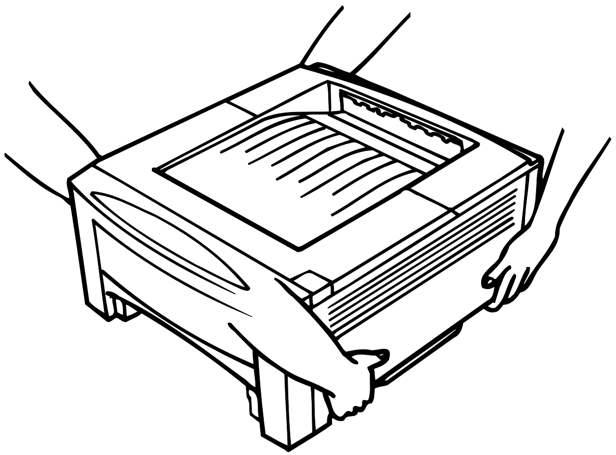
3.5 プリンタを持ち運ぶ際の注意

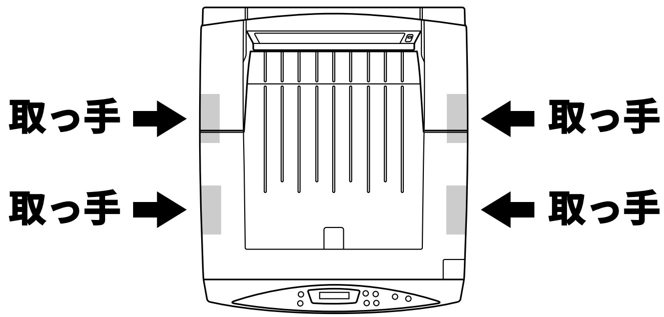
注 意

製品を持ち上げる際は、必ず４人以上で作業してください。

製品の重量は消耗品やオプション無しでも約43kg あります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。

図のように製品の取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり、傾けて持ち上げるとプリンタの破損および落下によるけがの恐れがあります。





プリンタをキャスター付きの台に乗せるときは､必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。

作業中に台が動くとプリンタの落下などによりけがの原因になる事があります。

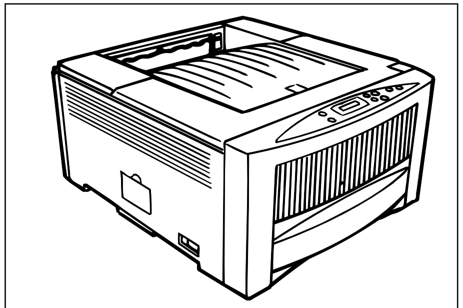
4. 設置手順

本ページプリンタを使用するにあたり、次の手順に従って設置してください。

4.1 プリンタを梱包箱から取り出します

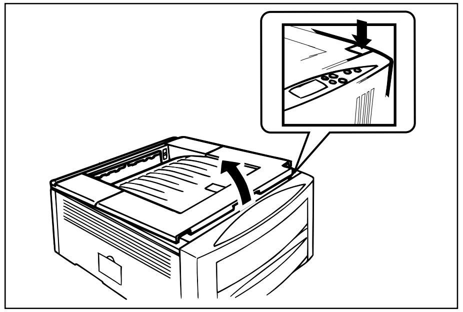
注 意

プリンタを箱から取り出すときは必ず2人以上で作業し、腰を傷めたり落としてけがをしないよう十分にご注意ください。プリンタは消耗品やオプション無しでも約43kgあります。



1 プリンタを梱包箱から取り出し、ビニールカバーと輸送用テープを取り除きます。

ポイント
別売品の拡張ペーパフィーダセットをお買い求めの方は、次の手順の前に☞ハードウェアマニュアル「5.2 拡張ペーパフィーダの取り付け」（50ページ）を先に行なってください。



2 設置場所にプリンタを置き、ルーフの右手前にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。

ポイント
必ず水平な場所に設置してください。段差のある場所に設置すると色ズレすることがあります。
そのまま使い続けると故障の原因になることがあります。**☞（16ページ参照）**

注 意

ルーフは必ず最後まで開けてください。
途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などをはさまれ、けがをすることがあります。

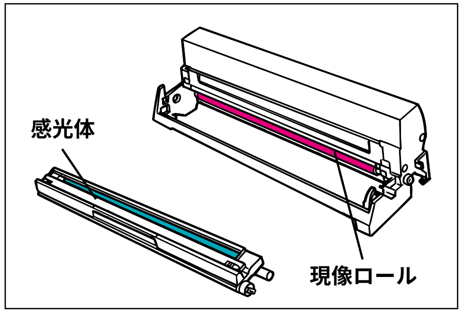
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
部品のエッジなどでけがをすることがあります。

次にドラムセットとトナーセットをプリンタに取り付けます

5. 消耗品の取り付け

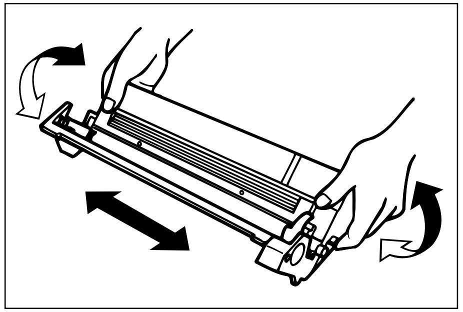
5.1 ドラムセットとトナーセットをプリンタに取り付けます

ドラムセットとトナーセットはそれぞれブラック、イエロー、シアン、マゼンタの４種類があります。以下の手順で、同じ色のドラムセットとトナーセットを組み合わせてから、プリンタの所定の位置（色ごとに決まっています）に取り付けます。以下の手順はブラック用ドラムセットとトナーセットをプリンタに取り付ける手順ですが、その他のドラムセットとトナーセットも同様に取り付けてりださい。

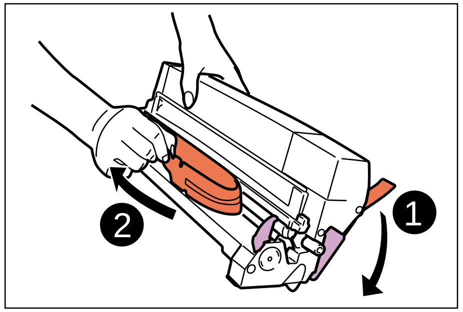


1 **ドラムセットとトナーセットを箱から取り出し、ビニールカバーや保護シート類を取り除きます。**

> ポイント 消耗品の取り付けは強い光の当たる場所では行なわないでください。また、箱から取り出した状態で長時間放置しないでください。
>
> ポイント ドラムセットの感光体（青色）にキズが付かないよう取り扱いにご注意ください。
>
> ポイント トナーセットの現像ロールにゴミが付着しないよう取り扱いにご注意ください。

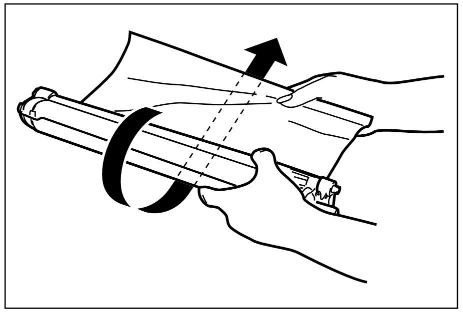


2 **トナーセットを図の向きによく振って、中のトナーが片寄らないようにします。**

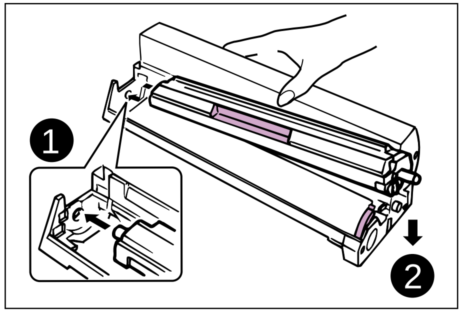


3 **トナーシールテープ❶、❷を剥がします。**

> ポイント トナーシールテープを剥がすときにトナーがこぼれることがあります。下に紙などを敷いて作業してください。

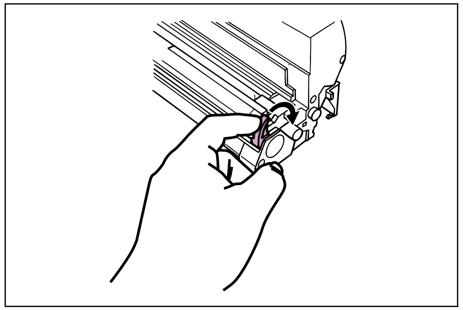


4 **ドラムセットの保護シートをはがします。**



5 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットのシャフトをトナーセットの穴に差し込み、（⬅❶）、反対側のシャフトをトナーセットの溝にセットします。（⬇❷）

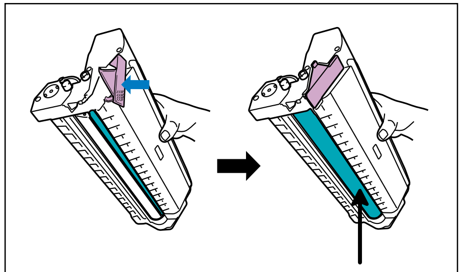
☑ポイント ドラムセットとトナーセットは必ず同じ色のものを組み合わせてください。



6 ロックレバー（紫色）を倒してドラムセットをトナーセットに固定します。

☑ポイント ロックレバーが倒れないときは、ドラムセットを取り付け直してください。

☑ポイント ドラムセットとトナーセットを組み合わせた現像ユニットを以降「ドラム・トナーセット」と記載します。

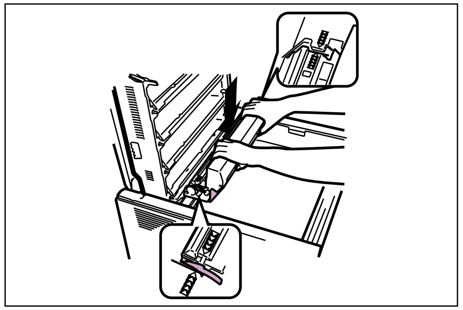


青色のドラムが見える事を確認してください。

7 ドラム・トナーセットを持ち上げ、スタンド（紫色）を閉じます。

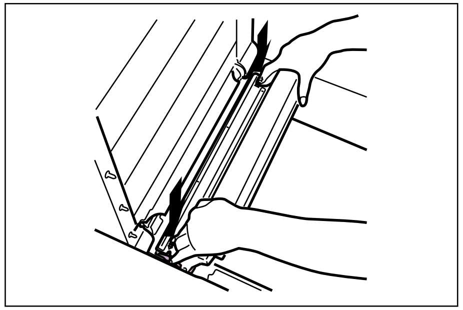
☑ポイント スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。

☑ポイント ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。



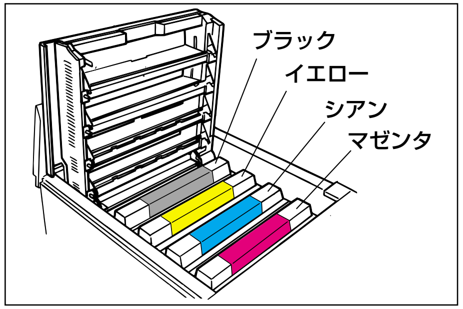
8 ドラム・トナーセット左右の▶▶▶▷マークとプリンタ側にある▶▶▶▷マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。

☑ポイント ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

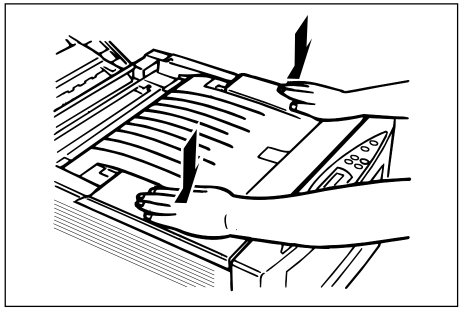


9 ドラム・トナーセットの左右にある▶▶▶▶マークを手で押して、確実にセットされていることを確認してください。

> ポイント 確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

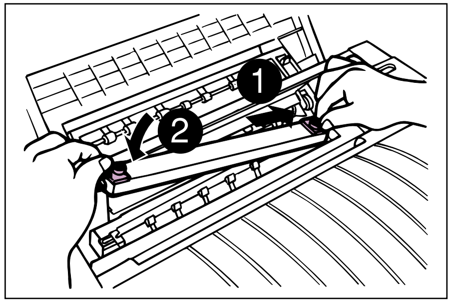


10 ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順に手順 **2**～**9** を繰り返して、全てのドラム・トナーセットを取り付けます。

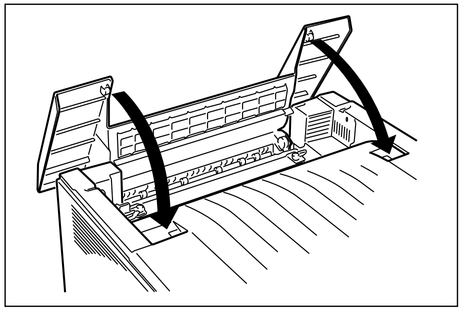


11 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

> ポイント ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。
>
> ポイント ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。



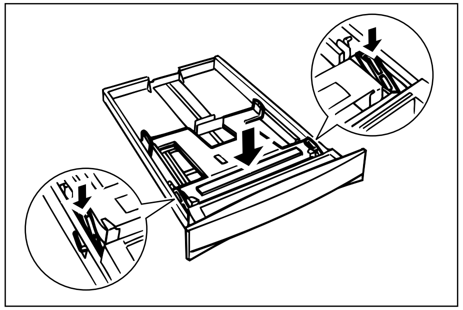
12 N4-614e モデルの場合は、ブラックのドラムセットに同梱されている定着クリーナを取り付けます。詳しくは☞ハードウェアマニュアル(14ページ) **4**、**5**をご覧ください。



13 排紙カバーを閉めます。

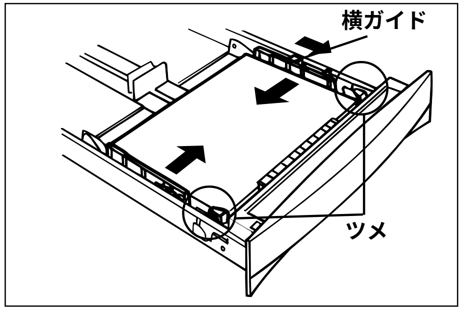
次にペーパカセットを取り付けます ➡

5.2 ペーパカセットを取り付けます

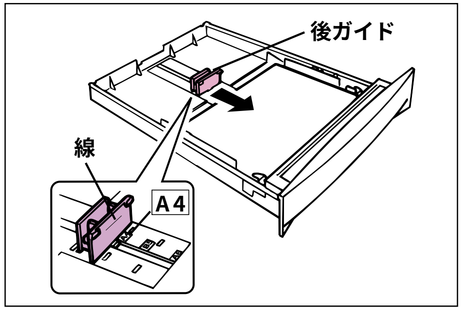


1 ペーパカセットの底板（金属板）が上がっているときは、底板を手で押しながら、図の位置（左・右）にある黒いロックレバーを押して、底板をロックします。

ポイント 通常底板はプリンタから取り出したときに下がりますが、ロックレバーに手が触れるなどして底板が上がることがあります。底板が上がったままプリンタに取り付けると故障の原因になりますので、必ず底板を下げてからプリンタに取り付けてください。



2 用紙の四隅をそろえてペーパカセットにセットし、横ガイドのロックレバーをつまみながら用紙にピタリと合わせた位置に調節します。このとき、用紙がツメの下になっていることを確認してください。

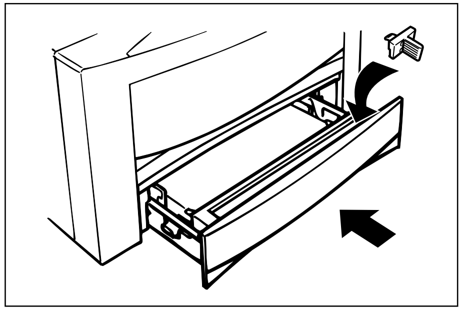


3 後ガイドの固定クリップをつまみながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント このとき固定クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

ポイント 用紙の量は後ガイドの線より下になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。

ポイント プリンタは後ガイドの位置でカセットにセットされた用紙サイズを検出しています。用紙サイズ誤検出の原因になりますので、後ガイドは正しい位置に固定してください。図の例はA4横サイズの用紙をセットした場合です。

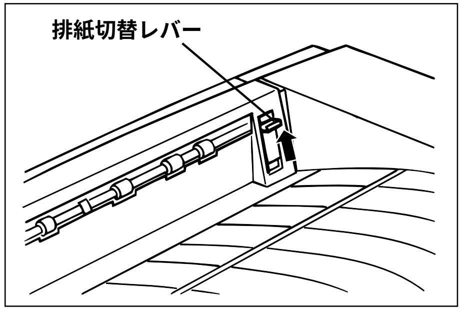


4 ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり押し込みます。

ポイント 強く押し込むとペーパカセット内の用紙がズレて紙詰まりになることがあります。ゆっくり押し込んでください。

ポイント 付属の現像ロールクリーナはペーパカセット手前（図の位置）に保管してください。
☞ハードウェアマニュアル「現像ロールクリーナの使い方」（82 ページ）を参照してください。

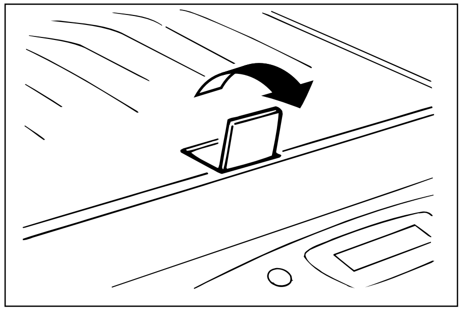
5.3 排紙切替レバーを確認します



図の排紙切替レバーがフェイスダウン（上側）になっていることを確認します。

ポイント フェイスアップ排紙で印刷するときはフェイスアップトレイを開けてから排紙切替レバーを下げてください。
☞ハードウェアマニュアル「3. 排紙口の切り替え」（38 ページ）

5.4 用紙ストッパーを起こします

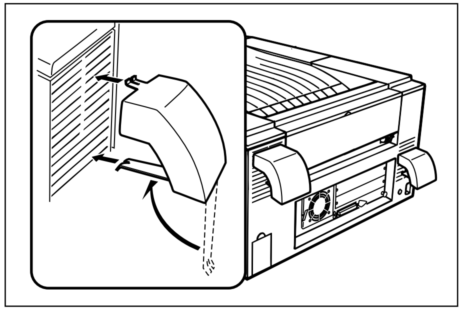


A3サイズの用紙に印刷するときは、図の用紙ストッパーを起こして用紙が落ちないようにします。

ポイント ルーフを開けるときにここを持たないでください。外れることがあります。

次に風向変更カバーを取り付けます ➡

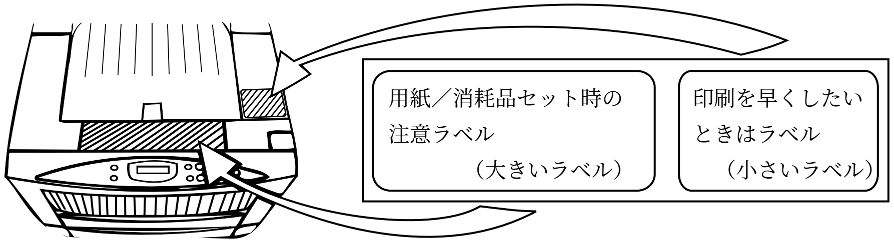
5.5 風向変更カバーを取り付けます



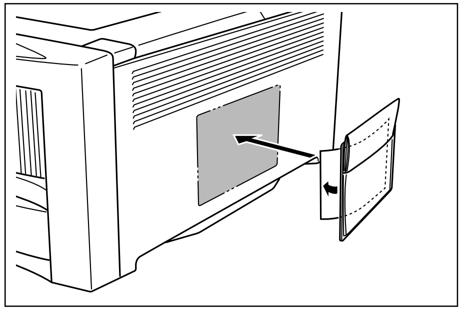
プリンタの背面から出る風の向きを変えたいときは、付属の風向変更カバーを排気口に取り付けます。
図のように風向変更カバーの下側のツメを折り曲げ、上下 2ヶ所のツメを排気口のスキ間（ルーバーのスキ間）に差し込んで取り付けます。

5.6 注意ラベルを貼ります

必要に応じてプリンタの図の位置に注意ラベルを貼ってください。



5.7 クイックガイドを貼り付けます



プリンタ右側面のルーバー（空気取り入れ口の溝）の下にクイックガイドを貼り付けてください。

ポイント クイックガイドがルーバーをふさがない位置に貼り付けてください。

6. 電源コードの接続と動作確認

⚠ 警告

＜電源に関する警告＞

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

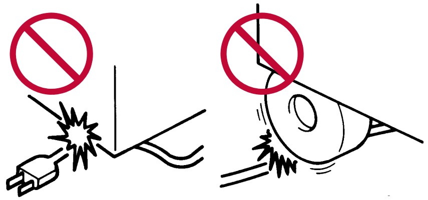
- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。）

⚠ 警告

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。
電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

注 意

＜電源に関する注意＞

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

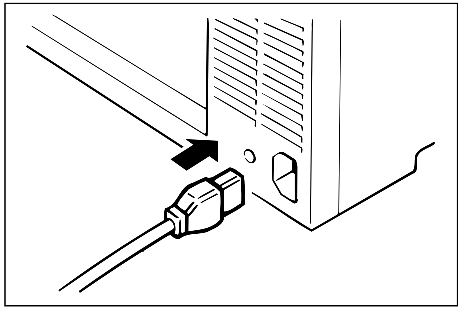
本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

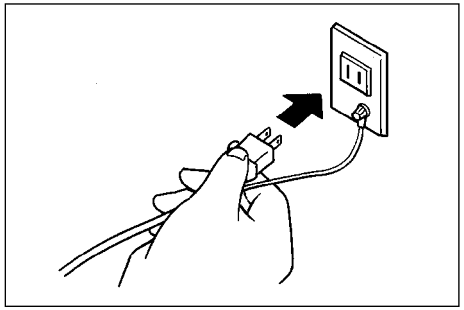
パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

6.1 電源コードを接続します

消耗品やオプションの取り付けが終了したら、電源コードを接続してプリンタの動作確認のためにステータスシートを印刷します。



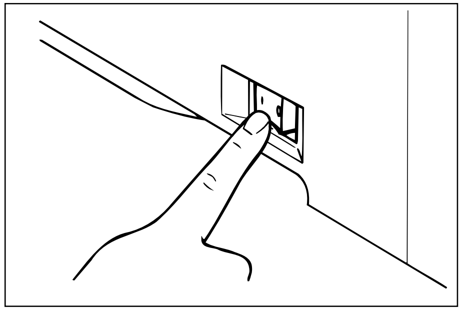
1 プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認してから、電源コードをプリンタに差し込みます。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 警 告

このときアース線は必ず接続してください。アース接続しないで万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。
詳しくは **警告（25ページ）を参照してください。**



3 電源スイッチをONにします。

> **注意！ 電源スイッチのOFF ←→ ON 間隔は3秒以上あけてください。**

電源スイッチをONにするとプリンタは以下のように動作します。

イニシャルチェック

```
イニシャル　ショリ　チュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
```

↓

通常表示（例）

```
インサツ　デ゛キマス
```

- プリンタの動作音がします。
- 全てのランプが一度点灯します。
- 表示パネルが左図のように表示します。（＊＊＊部分にチェック内容が表示されます。）
- データランプとメッセージランプが消灯し、表示パネルが通常表示になれば、印刷可能な状態です。

- 電源ランプが点滅しているときはウォームアップ中です。ウォームアップ中はデータの受信はできますが印刷はされません。ウォームアップが終了すると（最大 180 秒後）電源ランプが点灯に変わり、印刷を開始します。

ポイント **エラーメッセージが表示されたときは、☞ハードウェアマニュアル「6.1 表示パネルのメッセージと処置方法」（62 ページ）を参照して正しい処置をしてください。**

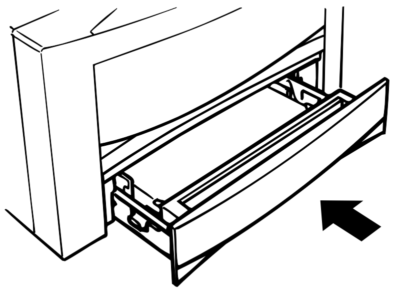
次にセルフプリント（ステータスシート）の印刷をします ➡

6.2 セルフプリント(ステータスシート)の印刷

プリンタの設置が終わりました。プリンタの動作確認のためにセルフプリントを行ないます。

セルフプリントの印刷

次の手順に従ってセルフプリントを行なってください。



1 **A 4 用紙をペーパカセットに横置きにセットします。**

オンラインを押しながら
電源 ON

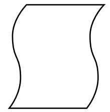
イニシャル　ショリ　チュウ

2 **オンラインボタンを押しながら電源スイッチを ON にします。**

3 **イニシャルショリチュウと表示されている間はオンラインボタンを押し続けます。**

＊　セルフ　インジ゛　＊

オンラインを
離す



インサツ　デ゛キマス

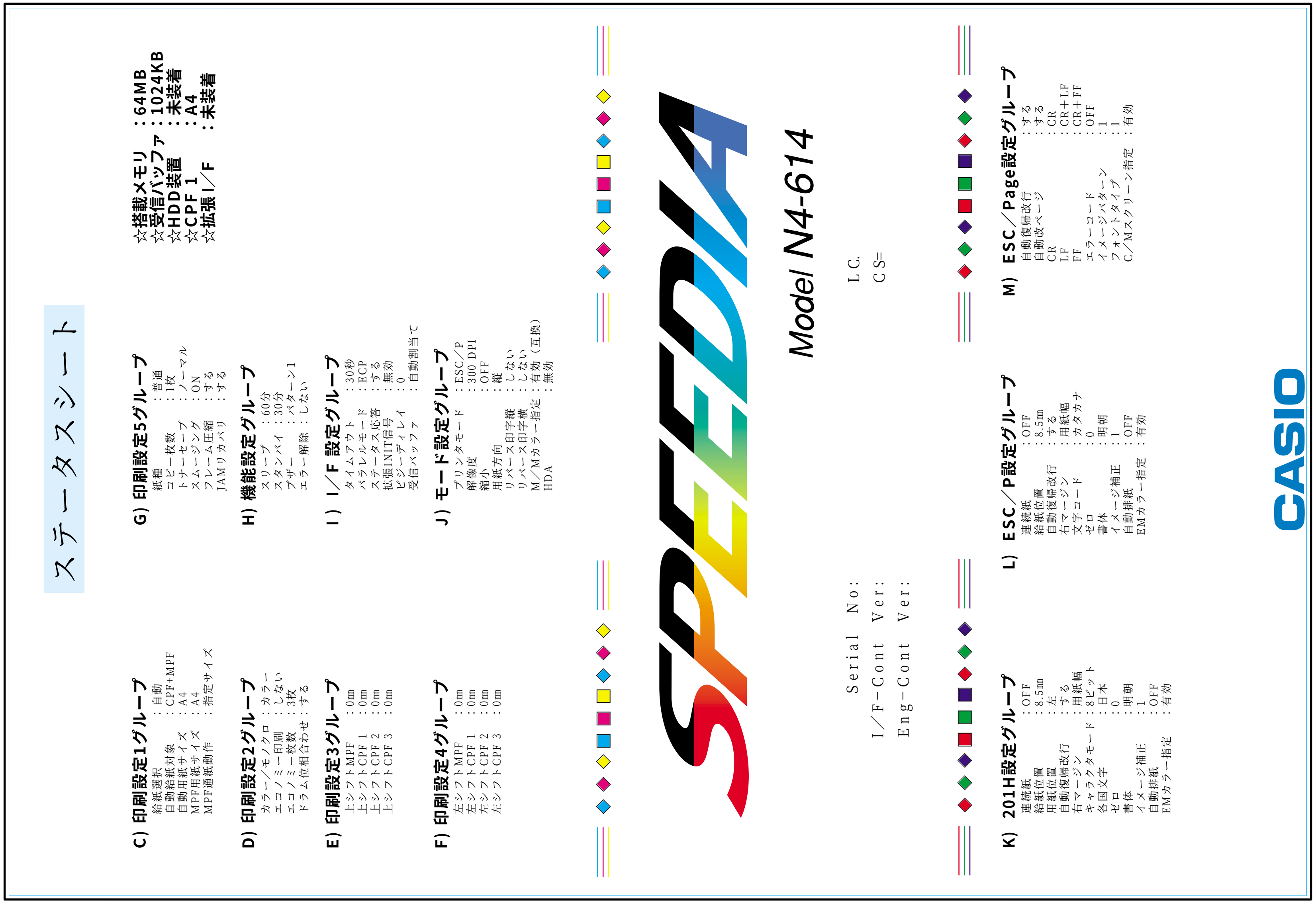
4 **＊ セルフ　インジ＊ と表示されたらオンラインボタンから手を離します。**

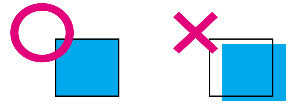
5 **電源ランプが点滅から点灯に変わるとセルフプリントを開始します。**

6 **セルフプリントが終わると通常状態に戻ります。**

セルフプリントの結果

セルフプリントを行なうと、次のようなセルフパターンが印刷されます。





ステータスシートには色ズレ確認するためのマークが印刷されます。
図のようにマークの外ワクと中の塗りつぶしの色がズレているときは、☞ハードウェアマニュアル「付録9.色ズレの調整」を参照して調整してください。

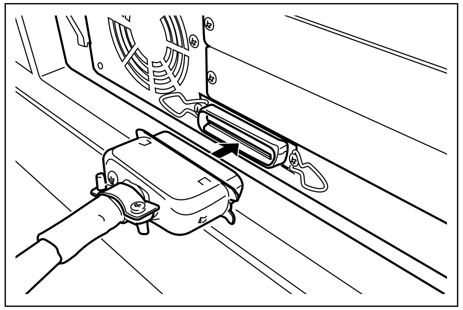
次にパソコンに接続します ➡

7. パソコンとの接続

パソコンに接続する方法はパラレルインターフェイスケーブルで接続するローカル接続と、Ethernet インターフェイスケーブルで接続するネットワーク接続の２通りが可能です。

ポイント **ネットワーク接続するためにはプリンタにLANボード（オプション）を取り付ける必要があります。**

7.1 ローカル接続の場合



プリンタ背面のインターフェイスコネクタ（セントロニクス準拠36ピン）に、プリンタケーブルのコネクタを差し込み固定します。

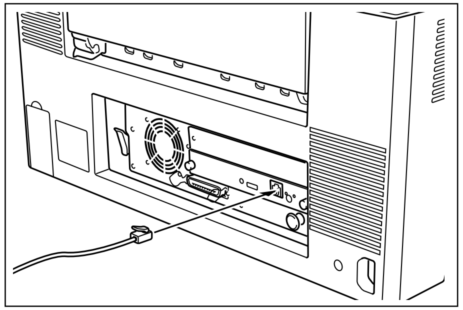
注意! **プリンタケーブルを接続する前に、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってください。**

ポイント **本プリンタはECP（Extended Capabilities Port：1284準拠）をサポートしていますが、ECPで使用するときは「CP-CA554（オプション）」（DOS/V機用）のプリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側もECPモードをサポートしている必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

ポイント **各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になる場合は、VCCI適合のために、必ずケーブルとコネクタがシールドされたものをご使用ください。シールドされていないものを使用すると電波障害の原因になる事があります。**

次にネットワーク接続をします

7.2 ネットワーク接続の場合



プリンタ背面のLANボード（オプション）にEthernetケーブルを差し込みます。

ポイント Ethernetケーブルは、市販のシールドツイストペアケーブル（カテゴリー5 STP）のストレートケーブルをご使用ください。

ポイント LANボード（オプション）の取り付け方法はハードウェアマニュアル「オプションについて」を参照してください。

ポイント LANボードにはあらかじめIPアドレス等の設定をしておく必要があります。詳しくはLANボードに同梱のマニュアル（CD-ROM内PDFマニュアル）を参照してください。

ポイント 一部のスイッチングHUB、パラレルーLAN変換アダプタ、プリンタ切り替え機をプリンタに接続すると正しくデータ転送ができない場合があります。正しくデータ転送できないときは、これらの中継機器を外して、直接接続する方法をお試しください。

次にパソコンのセットアップをします

8. パソコンのセットアップ

8.1 システム環境条件

使用できるパソコンのハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

■Windows95/Windows98

オペレーティングシステム	Windows95 日本語版／Windows98 日本語版
CPU	i486SX® 以上（Pentium® 以上推奨）
主記憶メモリ	8MB 以上（推奨 32MB 以上）
ハードディスク空き容量	10MB 以上（推奨 200MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me ／日本語版
CPU	Pentium®（150MHz）以上
主記憶メモリ	32MB以上（推奨64MB以上）
ハードディスク空き容量	295MB 以上（推奨 500MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■WindowsNT4.0/Windows2000

オペレーティングシステム	WindowsNT4.0 日本語版／Windows2000 日本語版
CPU	i486SX®（25MHz）以上 x 86 系または Pentium®（Pentium® 以上推奨）
主記憶メモリ	16MB以上（推奨32MB以上）
ハードディスク空き容量	20MB 以上（推奨 200MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP ／日本語版
CPU	Pentium® ／ Celeron™ または AMD K6 ／ Athlon ／ Duron™（300MHz）以上
主記憶メモリ	64MB以上（推奨128MB以上）
ハードディスク空き容量	20MB以上（推奨200MB以上）
ディスプレイ	Super VGA（800x 600）以上の解像度

次にプリンタソフトウェアのセットアップをします

8.2 プリンタソフトウェアのセットアップ

プリンタに同梱のCD-ROMには、プリンタをご利用いただくために必要なプリンタドライバなどの各種ソフトウェアおよび取扱説明書が収められています。
プリンタをご使用になるためには、最低でもプリンタドライバのインストールが必要です。☞ 36ページ
CD-ROMをパソコンにセットし、以下の手順および画面の指示に従ってプリンタドライバと、ご希望のソフトウェアをセットアップしてください。

■ソフトウェアの導入

CD-ROM を、ご導入いただくパソコンの CD-ROM ドライブにセットしてください。
CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、スタートアップメニュー（図 8 − 1）が表示されます。（しばらく待っても、自動的にスタートアップメニューが表示されない場合には、エクスプローラなどから CD ドライブを表示し、startup.exe を実行してください。）

■スタートアップメニュー

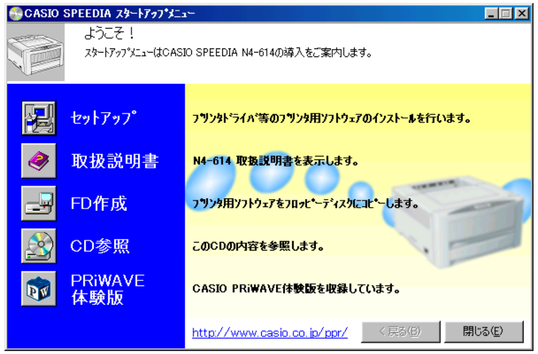


図8－1

スタートアップメニューは、CD-ROMに収録されている各ソフトウェアの導入をご案内します。
ご希望の項目のボタンをクリックしてください。

主なボタンの説明を以下に示します。

●セットアップ

プリンタ用ソフトウェアをセットアップします。☞ 36ページ

●取扱説明書

取扱説明書の表示・セットアップを行ないます。☞ 37ページ

●FD 作成

CD-ROMに収録されているソフトウェアを、フロッピーディスクからセットアップできるように、フロッピーディスクにコピーします。☞ 38ページ

■セットアップ



図 8 − 2

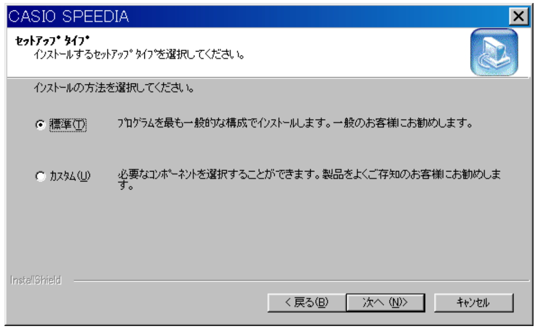


図 8 − 3

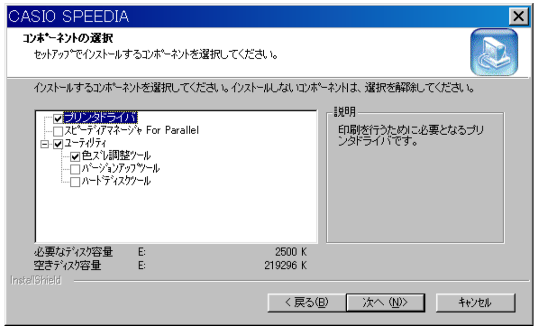


図 8 − 4

セットアップボタンをクリックすると、セットアップをご案内するウィザードが実行されます。ウィザードの画面メッセージに従って、セットアップに必要な項目を各画面で設定して、「次へ」ボタンで進行していきます。セットアップに必要な項目の設定が完了すると、ファイルのインストールが開始されます。

☞ セットアップウィザード（39 ページ）

● プリンタドライバ

Windows 用プリンタドライバです。Windows で印刷を行なうために必要です。
標準構成でインストールされます。

● スピーディアマネージャ For Parallel

プリンタ監視ツールです。パソコンから直接プリンタケーブルで接続されたプリンタの状態（用紙補給／紙詰まり等）を画面に表示することができます。
標準構成ではインストールされません。

● ユーティリティ

色ズレの調整を行なうためのツールやプリンタの制御プログラムを更新するためのバージョンアップツール等が収録されています。（プリンタ制御プログラムは、必要に応じて下記ホームページからダウンロードしてください。）
標準構成では色ズレ調整ツールがインストールされます。

http://www.casio.co.jp/ppr/download/down_idx.html

※ プリンタ制御プログラム以外にも、最新のプリンタドライバ等が上記ホームページからダウンロードできます。

■取扱説明書

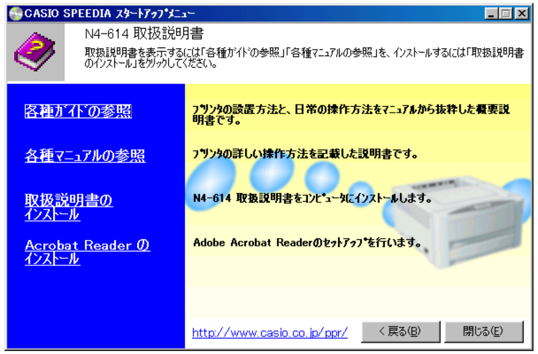


図８－５

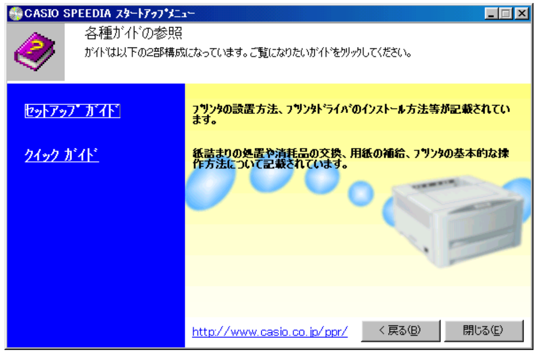


図８－６

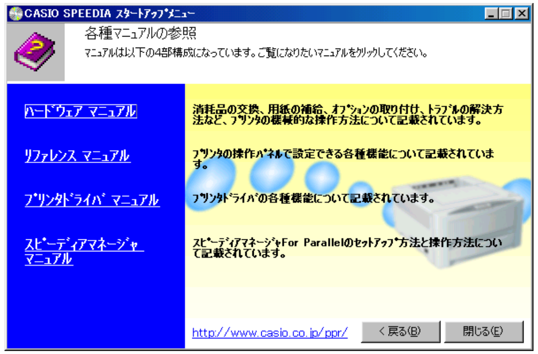


図８－７

取扱説明書ボタンをクリックすると、選択画面（図８－５）が表示されます。

● 取扱説明書の参照

CD-ROMに収録されている取扱説明書を参照するためには、「各種ガイドの参照」または「各種マニュアルの参照」をクリックしてください。
さらに取扱説明書のトピックが表示されます（図８－６、図８－７）ので、ご覧になりたいトピックをクリックしてください。
（取扱説明書をご覧いただくためには、Adobe Acrobat ReaderなどのPDF文書を表示可能なビューアがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CD-ROMに収録されているAdobe Acrobat Readerをインストールするかどうかを確認するメッセージが表示されますので、インストールしてもよろしければ、「はい」を選択してください。）

● 取扱説明書のインストール

取扱説明書をハードディスクにコピーしてからご参照いただくためには、「取扱説明書のインストール」をクリックしてください。
取扱説明書をインストールするためのウィザードが実行されます。
画面のガイドに従って、インストールを行なってください。

● Acrobat Reader のインストール

Adobe Systems社のAdobe Acrobat Readerをパソコンにインストールします。
CD-ROMに収録されている取扱説明書の文書フォーマットに対応したビューアです。

■FD作成

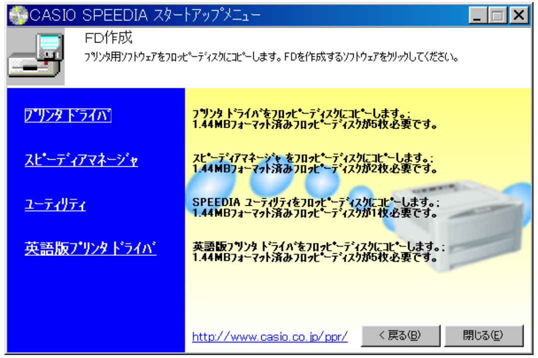


図8－8

FD作成ボタンをクリックすると、FD作成画面（図8－8）が表示されます。
FD作成は、CD-ROMドライブが搭載されていないパソコンなどのために、セットアップ用フロッピーディスクを作成できます。

セットアップディスクを作成したいソフトウェアをクリックして、開始ボタンを押すとフロッピーディスクの作成を開始します。
（ディスク作成のために、1.44MBでフォーマットしたブランクディスクを用意してください。）

■セットアップウィザード



図 8 − 9

● セットアップウィザードの開始

プリンタウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

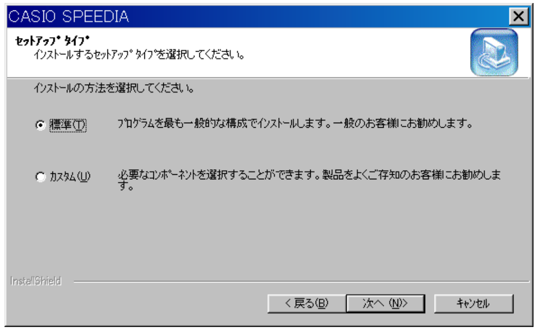


図 8 − 10

● セットアップタイプ

セットアップの方法を選択します。

通常は、「標準」を選択してください。標準的なソフトウェアの構成でセットアップを実行します。

「カスタム」を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、セットアップするソフトウェアを選択する画面（図８－１１）が表示されます。

この画面では、インストールしたいソフトウェアにチェックをして、「次へ」ボタンをクリックします。

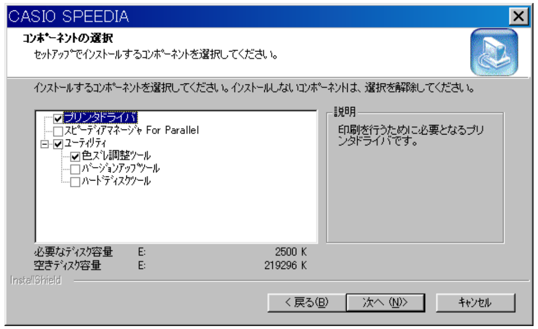


図 8 − 11

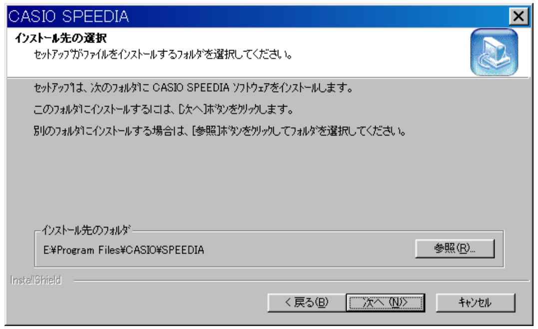


図 8 ― 12

● **インストール先フォルダの指定**

この画面では、ソフトウェアのファイルをコピーするフォルダ名を指定します。（ここで指定したフォルダ以外にも、必要なファイルがシステムのフォルダなどにコピーされます。）



図 8 ― 13

● **プログラムフォルダの選択**

スタートメニューのプログラムフォルダに、ソフトウェアのアイコンを登録します。登録するフォルダ名を指定してください。通常は、「CASIO SPEEDIA」のまま変更せずに「次へ」ボタンをクリックしてください。

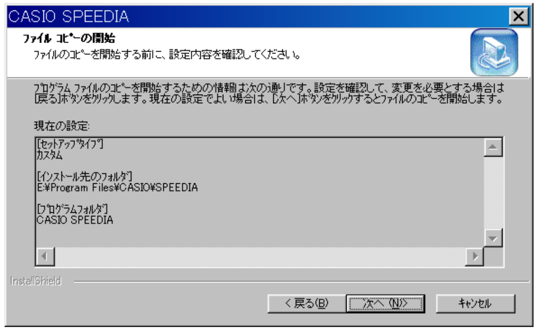


図 8 ― 14

● **ファイルコピーの開始**

ファイルのコピーを開始します。設定した内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

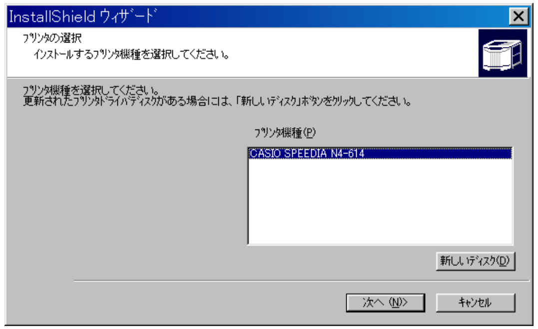


図 8 ー 15

● プリンタの選択

プリンタドライバをセットアップします。

「CASIO SPEEDIA N4-614」が選択されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

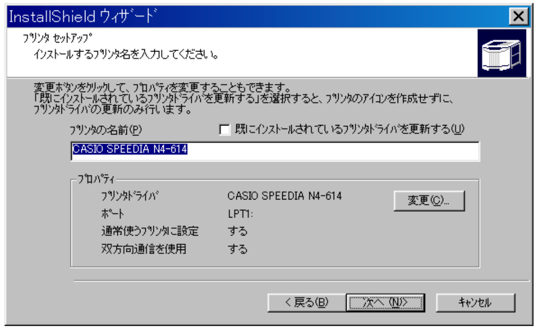


図 8 ー 16

● プリンタセットアップ

セットアップを行なうプリンタに関する設定を行ないます。

「プリンタの名前」を指定して「次へ」ボタンをクリックしてください。

この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

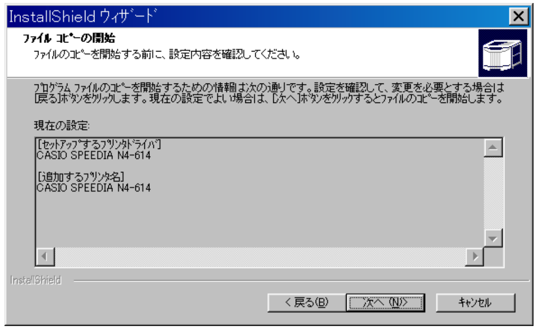


図 8 ー 17

● ファイルコピーの開始

「次へ」ボタンをクリックしてプリンタドライバに必要なファイルのコピーを開始します。

この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

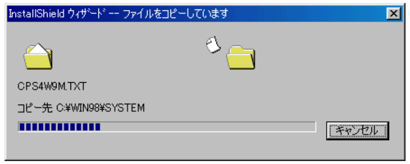


図 8 － 18



図 8 － 19



図 8 － 20



図 8 － 21

● ファイルのコピー

ここまでで設定した内容に基づいて、ファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

コピーの実行中に、いくつかの確認のためのダイアログが表示されます。

Windows2000/XP では、ファイルのインストール前に、図８－１９のダイアログボックスが表示されます。（セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。）
「はい」ボタンをクリックして、セットアップを続行してください。

また、スピーディアマネージャに関する２つの問い合わせダイアログ（図８－20）、（図８－21）が表示されます。
（セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「スピーディアマネージャ For Parallel」をセットアップしない場合には表示されません。）
メッセージの内容を確認して、「はい」または「いいえ」のボタンをクリックしてください。



図 8 ー 22

● セットアップの完了

以上でソフトウェアのセットアップは完了です。「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。
「コンピュータを再起動する必要があります。」のメッセージが表示される場合には、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動するようにしてください。

以上でプリンタのセットアップは完了です。
プリンタをご使用になる前にハードウェアマニュアルもよく読んでご活用ください。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
テクニカル･インフォメーション･センター	電話 03-5334-4557

インターネット･ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA N4 614

セットアップガイド

2002年3月25日　第5版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。